

平成 2 5 年度日光市指定管理施設の評価結果

【評価レベル】

評価の目安	評価ランク	内 容
↑ ↓	良い	A 特に優れていると認められる。
		B 優れていると認められる。
	普通	C 適正であると認められる。
		D 努力が必要であると認められる。
	適切でない	E かなりの努力が必要であると認められる。

※評価ランクについては、利用者満足度や経費低減、収入増加などの項目をもとに、決定しております。

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	1	J R 今市駅市営自転車駐車場	株式会社 近代ビル管理社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・誰もが利用しやすく、利便性と安全性を両立した快適な環境づくりを維持しているという点で評価は「適正」であるといえる。 ・また、調査結果の満足度がやや低かった安全面についても、可能な限り 1 名の係員を出入り口に配置し、その都度対応することにより、より一層安全性も確保されているため評価できる。 【改善に向けた方策】 ・駅隣接の自転車駐車場等という性質上、設置目的等を達成するだけでは収入の増加は見込めず、必要最低限の運営コストで、その目的を如何に達成するかという点が課題である。収支の改善を考えると更なる利用率アップのための方策が必要である。	市民生活部 生活安全課
	2	温泉保養センター「かたくりの湯」	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・前年度よりも入場者が増加している。カラオケ事業や高齢者向け健康教室などの自主事業の実施、日光市主催の行事や旅行雑誌等の企画に協賛した減免事業、広告の掲載など利用者向けのサービスが効果的に図られ指定管理者の努力が利用者の増加につながったと評価する。 ・また、前年の課題であった利用者アンケートの回収率、回答者数が増加し、再利用希望率も回復傾向にあるのも評価できる。 【改善に向けた方策】 ・今後もアンケート回収率を増やし、多くの利用者の声を聴くことでより良い施設運営を心掛けるよう指導する。 ・苦情等のトラブル対応に関しては、改善の余地が見受けられるので、公の施設を管理する立場として、迅速かつ公平・公正な対応を行うよう指導する。	観光部 観光交流課
	3	市民活動支援センター	特定非営利活動法人 おおきな木	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・会議室の利用、一般来場者が減少しているが、広報、情報提供の仕方に工夫（FACEBOOK、Twitterの利活用、館内の掲示・レイアウトを随時更新）をするなど、センターの認知度は年々上昇している。 ・スタッフの資質の向上やスタッフ間での情報の共有等が、研修・ミーティングを通じて図られており、おおむね適正に管理運営されていると判断できる。また、ボランティア・人材育成面について、さらなる充実を期待する。 【改善に向けた方策】 ・引き続き自主事業・講座の開設等を積極的に進めるよう助言する。 ・有料講座の開設等、自主財源の確保につながる事業等も検討するよう助言する。	企画部 地域振興課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	4	生きがいセンター	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	21.4.1～ 26.3.31			○			・適正に運営をされている。 【改善に向けた方策】 ・今後も施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めるよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	5	今市宿市縁ひろば	今市観光協会	21.4.1～ 26.3.31			○			・当該施設は、利用者が郷土の歴史・文化・産業にふれることを目的としており、日光市にちなんだ多種多様な事業を実施することが望まれる。 ・今年度は、イベント広場利用者数が増加したことは評価できるが、今市地域の入込者数が前年度よりも増加したのにも関わらず、市縁ひろば全体の利用者数が前年度に比べやや減少した。 【改善に向けた方策】 ・今後も利用目的にちなんだ事業を今まで以上に積極的に実施し、入込者数の増加に努めるよう指導する。 ・全般的な事務処理にあたっては、正確性とスピードの向上が強く望まれることから、必要な指導・助言を行う。	観光部 観光交流課
	6	農村環境改善センター 大室ダム（ダム機能）	日光市土地改良区	21.4.1～ 26.3.31			○			・大室ダムの日常管理は適正に行われたが、施設機能保持のための日常点検については、更なる体制強化が必要である。 【改善に向けた方策】 ・利用者満足度調査等を行なうことで地域住民の要望を把握するとともに、今後も利用者の平等利用・安全性確保に努めるよう指導する。 ・大室ダムについては、農業用ため池として重要な役割を担う施設であるため、更なる管理体制強化に努めるよう指導する。	産業環境部 農林課
	7	大室ダム（周辺公園）	日光市土地改良区	23.4.1～ 26.3.31			○			・概ね事業計画のとおり遂行されている。 【改善に向けた方策】 ・引き続きトイレの管理や釣り人への注意喚起に努めるよう指導する。 ・草刈や清掃等が不十分な箇所があるので、適切な管理を指導する。	産業環境部 農林課
	8	小百川桜公園	公益社団法人 日光市シルバー人材センター	23.4.1～ 28.3.31			○			・施設の維持管理は適正に管理されていた。特に、平成26年2月の大雪時には、除雪作業が迅速に行われ、利用者便宜向上、危機管理体制面に関しても評価に値する。 ・未だに全般的に事務処理が遅く正確性にも欠ける。 【改善に向けた方策】 ・今後も利用者の為に迅速な対応と適切な管理体制を継続するよう指導する。 ・利用者の意見を積極的に聴取し、利用者を増やすためのイベント等の実施を検討するよう指導する。 ・指定管理者として業務を行う上で、現場の業務だけではなく、事務処理能力の向上も図るよう指導する。	観光部 観光交流課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	9	都市公園 ①今市中央公園 ②平ヶ崎公園 ③ひばり公園 ④あきの空公園 ⑤杉の木公園 ⑥春日町公園 ⑦原町公園 ⑧大桑杉並木観賞公園 ⑨轟工業団地第一公園 ⑩轟工業団地第二公園 ⑪轟工業団地緑地 ⑫大谷川グリーンパーク ⑬杉並木公園 ⑭おおるり公園 ⑮かたくりの湯公園 ⑯森友ポケットパーク ⑰住吉町ポケットパーク ⑱市役所入り口ポケットパーク ⑲あかほり公園 ⑳土橋公園 ㉑地藏下公園	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・概ね事業計画のとおり業務が遂行されており、利用者からの要望等に対する対応の早さについても評価できる。	建設部 維持管理課
	10	運動公園 ①今市運動公園 ②丸山公園 ③落合運動公園 ④豊岡運動公園 ⑤塩野室運動公園	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・快適な利用環境を提供することで、市民のスポーツの振興と心身の健康保持増進に貢献している。 【改善に向けた方策】 ・施設の点検などを継続して実施することはもとより、近年頻発するゲリラ豪雨などの異常気象に対しても、既存の公社危機管理マニュアルとともに十分な備えを構築し、事故のない安全な管理運営に努めるよう指導する。	教育委員会 スポーツ振興課
	11	杉並木公園ギャラリー	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・利用件数、稼働率とも高水準であり、また、利用者のニーズの把握や要望に対する対応を迅速に行いつつ、市との協議も頻繁に実施している。 ・そうした点が高い満足度につながっていると認められ、施設の設置目的の達成に関する取り組みは充分になされている。 【改善に向けた方策】 ・来場者数（入場・見学者数）増加のため、施設はもとより、催事内容の周知、広報力を強化し、新規利用者の増加につながる取り組みを行うよう助言する。	教育委員会 生涯学習課
	12	今市文化会館	株式会社 ケイミックス	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・施設設備の管理面では、老朽化が進んだ各設備の保守点検を計画的に実施するとともに、限られた予算の中でできる限りの修繕を行い、ホールの運営に支障を来たさぬよう配慮されている。 ・経費削減の取り組みもおこなわれており、貸館業務における利用者アンケートの結果では概ね良好な結果が出ている。 【改善に向けた方策】 ・使用料収入については大幅に改善されたが目標には達していないため、更に魅力ある公演の実施が求められる。 ・民間の指定管理事業者として持てるノウハウを最大限活かし、日光市の文化振興を中長期的に見据え、施設の利用向上に向けた新たな取り組みや創造的な事業など、質の高い運営を行うよう指導する。	教育委員会 中央公民館

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
今 市 地 域	13	今市図書館 ※日光図書館・藤原図書館を含む	株式会社 図書館流通センター・株式会社 近代ビル管理社共同事業体	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・指定管理者制度導入後、開館日（時間）の増加、集客事業の増加、司書率の向上等を実現し、その結果、利用者も増加した。 ・図書の貸出上限の増加や、在架予約の開始により利便性が高まった。指定管理者の努力を評価する。 【改善に向けた方策】 ・図書館事業は、3館それぞれの特色を活かした事業と、共通の事業のバランスが大切である。この点を考慮しながら今後の事業を展開するよう指導する。 ・図書館資料の選定について、人気の図書やC Dに偏ることがないよう、図書館資料としてよりよいものであるかを熟考したうえで選定するよう指導する。 ・さらに、図書館の所蔵資料全体を分析し、必要ならば新刊（新譜）でなくても購入する等、図書館本来の目的に沿って蔵書管理等の業務を進めるよう指導する。 ・日光市は、二社一寺をはじめ、たくさんの観光地を抱えており、観光客が図書館に質問を寄せることも多い。今後、図書館職員が日光市の歴史や文化のエキスパートとなり、あらゆる質問に対応できるような体制を整えるよう指導する。 ・施設管理については、緊急時の体制、連絡について、市の指示により対応する場面が発生したため、職員は共通の危機管理意識を持つよう指導する。 ・評価の指標に現れない部分である事務処理については、要求水準に達していないことが多く見受けられるため、努力するよう指導する。 ・今後も、利用者のニーズや地域の状況を把握し、信頼される図書館を目指すよう指導する。	教育委員会 生涯学習課
	14	斎場 日光聖苑	日光聖苑運営共同事業体 静祈	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			・指定管理当初は受付業務でわずかに混乱も見られたが、関係課と調整後は指定管理前と比べたサービスの低下も見られず、全体的に適正な施設管理が行われた。 ・運営費について目標値より実績値が上回ってしまったが、式場利用の増加による要素が大きく、この部分については指定管理者の努力で改善するのは難しいと思われる。	市民生活部 生活安全課
日 光 地 域	1	奥日光診療所	公益社団法人 地域医療振興協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・日光市奥日光診療所条例に規定されている診療所の責務である「(1)健康保険法（大正11年法律第70号）その他の保険制度の趣旨に基づき、適正な診療を行うこと。(2)奥日光地区における保健施設の拠点として、公衆衛生の向上及び健康増進に寄与すること。」については、診療所の運営に必要な有資格者等を配置し、診療日数を確保して診療にあたるなど、協定書・仕様書等に基づき適正に実施されている。 【改善に向けた方策】 ・奥日光地区という地域特性に沿った施設管理や、観光客を含む初診患者等への適正な診療体制について、充実を図るよう指導する。	健康福祉部 健康課
	2	温泉保養センター ①日光温泉 ②やしおの湯	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・やしおの湯及び日光温泉について、自主事業によるイベントや割引制度の実施により、利用者、収入とも前年を上回る結果となった。また、LED電球への切替を行なうなど経費削減への取り組みは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・新たな自主事業の実施や接遇の向上、市外への幅広い宣伝活動を行なう等、新規利用者及びリピーターの増加を図る取組を検討するよう助言する。	日光総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
日光地域	3	日光総合会館	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・経費節減をしながらも、サービスを低下することなく、おもてなしの心で適正な管理運営を行うことができている。 【改善に向けた方策】 ・自主事業を開催する上では、市民や観光客などの大人から小人までが大いに楽しめる場を提供するべく、創意工夫が必要である。さらに利用者及び収入増加を図るべく、営業並びに広報活動に尽力するよう助言する。	日光総合支所 観光課
	4	市営駐車場 ①西参道第1駐車場 ②西参道第2駐車場 ③西参道第3駐車場 ④日光駅前駐車場 ⑤山内駐車場 ⑥上鉢石駐車場	財団法人 日光市公共施設振興公社	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・目標数値に対して実績が及びはしなかったが、利用者及び利用料金の増加に向けての努力は認められる。常に利用者へのサービス向上を念頭に、利便性と安全性を考慮した管理運営を実施している。 ・苦情・要望に対しても、臨機応変かつ迅速な対応により、トラブルも少ない。 【改善に向けた方策】 ・さらに広報活動などを徹底し、利用者及び収入増加を図るよう指導する。	日光総合支所 観光課
	5	神橋駐車場	財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21. 4. 1～ 31. 3. 31			○			・利用者の利便性を考慮したサービス提供で利用促進を図る一方で、収支のバランスを鑑みながら駐車場を無料開放して、経費節減並びに地域活性化に貢献するなど、効果的かつ効率的な管理運営を行っている。（苦情やトラブルもない。） 【改善に向けた方策】 ・さらなる利用実績の向上を目指し、広報活動などを積極的に行い、収入増加に向けて努力するよう指導する。	日光総合支所 観光課
	6	小杉放菴記念日光美術館	財団法人 小杉放菴記念日光美術館	21. 4. 1～ 31. 3. 31		○				・美術館では、様々な事業を展開しており、これらは利用者に概ね好評である。 【改善に向けた方策】 ・今後とも、専門性や芸術性を堅持しつつ、市民のニーズに合った企画を期待する。 ・入館者数は減少しているため、さらなるPRに努め入館者の増加を図るよう指導する。 ・今年度は特に経費削減が図られたが、今後も継続して経費の削減に当たるよう指導する。 ・市所有の美術品については、そのほとんどが美術館内の収蔵庫に収蔵されているので、今後も適切な管理に当たるよう指導する。	教育委員会 生涯学習課
	7	日光福祉保健センター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・日光地域の高齢化率は36.7%と高く、高齢者に対する日光福祉保健センターの役割が、高まると思われる。 【改善に向けた方策】 ・施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めるよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
日光地域	8	小来川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			・平成25年度利用者数は平成24年度ほぼ横ばいとなっており、小来川地区だけでなく今市地区からの利用者を増やすための取り組みが必要である。 ・また依然としてデイサービスに抵抗があるという地域住民の声もあるので、見学会やお試しデイなど行うことで、新規利用者の拡充に努める必要がある。 【改善に向けた方向性】 ・平成26年度は、繁忙期におけるアンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、蓄積していく必要がある。これにより定量的な分析を行うことが可能となり、提供しているサービスと利用者ニーズとの乖離がないか確認でき、サービスの適正化や改善につなげることができる。 ・そのためにもより一層地域との関わりを増やし、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていけるように、地域に根ざした生活支援体制を確立しながら利用者の拡充に努めるよう指導する。	健康福祉部 介護保険課
	9	小倉山森林公園	日光彫り体験教室運営協議会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・日光彫り体験教室については、日光国体の開催に伴い利用予定のスケートセンター会場が使用できず体験者の減少につながったが、年間3万人を超える体験者の受け入れができています。 ・今年度は気象状況や野生動物の出没により利用者や職員の安全確保を優先する措置をとることが多く体験教室も前年に比べ減少したが、利用者に行ったアンケートでは高い満足度を得られており、伝統工芸への理解を深めることや森林公園の快適で安全な環境の提供などができた。 【改善に向けた方策】 ・冬期間の誘客と合わせてP R方法なども検討していく必要がある。 ・遊具等についても利用者の安全を考慮し老朽化している遊具の使用を禁止するなどの措置がとられたが、市としても老朽化した施設や遊具への対応について検討が必要である。	日光総合支所 産業建設課
	10	交流促進センター	日光温泉旅館協同組合	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・接遇研修の実施や、貸出用の自転車の設置、食事時間の融通性を高める等サービス向上の意識も高く、利用者からは高い評価を得ている。 ・また、インターネット予約システムの拡充により利用者の利便性を向上させ、県外からの利用者数を増加させたことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・広報・宣伝活動にも力を注ぐとともに、自主事業を実施する等、更なる集客増を図るような取組も検討するよう助言する。	日光総合支所 観光課
	11	日光郷土センター	社団法人 日光観光協会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・日光地域の観光の拠点として、年中無休で観光客へ情報提供を行っている。また、ゴールデンウィーク・紅葉等の時期には湯茶の接待を行い、観光客との交流を図っている。 【改善に向けた方策】 ・アンケート調査等を実施し、利用者のニーズを反映させるとともに、リアルタイムの情報提供を行う工夫を検討するよう指導する。	日光総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
日光地域	12	中宮祠介護サービスセンター	社会福祉法人 千成会	23. 3. 1～ 26. 3. 31			○			・平成25年度は平成24年度に比べ利用者数が増となっている。中宮祠・湯元地区だけでなく清滝地区からの訪問介護利用者が増えていることが要因と考える。 【改善に向けた方策】 ・平成26年度については繁忙期におけるアンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、蓄積していく必要がある。このことは定量的な分析を行うことが可能となり、提供しているサービスと利用者ニーズとの乖離がないか確認でき、サービスの適正化や改善につなげることができる。 ・そのためにもより一層地域との連携を強化し、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていけるように、地域に根ざした生活支援体制を確立しながら利用者の拡充に努めるよう指導する。	健康福祉部 介護保険課
	13	日光運動公園 日光体育館 細尾ドームリンク	財団法人 日光市公共施設振興公社	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・指定管理2年目となり、自然災害による影響はあったが、職員の努力もあり目標値はほぼ達成できており、指定管理者として適正であると考える。	日光足尾教育行政事務所
	14	日光霧降高原キスゲ平園地	一般財団法人 自然公園財団	25. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・利用者数、収入共に市の設定を上回り、良いスタートとなった。管理面も自然環境保護を専門とする職員を配置する等、良好な管理が図られている。また自然解説員を配置し、利用者サービスに努めている。 【改善に向けた方策】 ・今後も広報活動、開花情報、イベント等を企画し、キスゲシーズンの他にも新規利用者及びリピーターの増加を図る取り組みを行い、霧降地域のみならず日光市全体の観光振興に寄与するよう指導する。 ・その他、難しい課題であるが、冬期間の誘客が図れる事業の実施やイベントの考案等を行うよう指導する。	日光総合支所 観光課
藤原地域	1	三依診療所	学校法人 獨協学園 獨協医科大学日光医療センター	24. 4. 1～ 29. 3. 31		○				・日光市三依診療所条例に規定されている診療所の責務である、「(1) 健康保険法（大正11年法律第70号）その他の保険制度の趣旨に基づき、適正な診療を行うこと。(2) 三依地区における保健施設の拠点として、公衆衛生の向上及び健康増進に寄与すること。」については、診療所の運営に必要な有資格者等を配置し、診療日数を確保して診療にあたり、地元との信頼関係も築かれるなど、協定書・仕様書等に基づき適正に実施されている。 【改善に向けた方策】 ・今後も、規定の診療日数を確保し、地域の実情に即したへき地診療の確保に努めるよう指導する。	健康福祉部 健康課
	2	藤原福祉センター ふじの郷	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			・藤原地域の高齢化率は35.7%と高く、高齢者に対する藤原福祉センターの役割が、高まると思われる。 ・民間参入が難しい山間地へのサービスを、引き続き積極的に行うことが必要である。 【改善に向けた方策】 ・施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めるよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	3	ふるさと体験村（みよりふるさと体験村センター・キャンプ場）	中三依自治会	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			・中三依温泉センターと連携し、ファミリーキャンプ等、リピーターを含めた利用促進が図られた。また、ケビン棟周辺施設であるそば打ち体験道場、スキー場、体験農園利用者の活動拠点となっている。	藤原総合支所 観光課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
藤 原 地 域	4	川治温泉薬師の湯	一般社団法人 川治薬師の湯管理協会	24. 4. 1～ 29. 3. 31			○			・地元住民と観光客とのふれあいの場として、地域振興に寄与している。P R 活動も熱心であり、収入増につなげている。	藤原総合支所 観光課
	5	鬼怒川・川治温泉観光情報センター	特定非営利活動法人 鬼怒川・川治温泉観光協会	21. 4. 1～ 26. 3. 31			○			・鬼怒川・川治温泉の玄関という意識を持ち、来訪者に丁寧な対応をしている。観光P R もこと細かに最新情報を発信している。	藤原総合支所 観光課
	6	上三依水生植物園	有限会社 山加園	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・施設の設置目的など理解し、計画的な運営をしている。情報を細かに発信し、誘客に努めている。	藤原総合支所 観光課
足 尾 地 域	1	足尾保健・高齢者生活福祉センター (銅やまなみ館)	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・足尾地域の高齢化率は48.9%と高く、高齢者に対する足尾保健・高齢者生活福祉センターの役割が、高まると思われる。 【改善に向けた方策】 ・施設の適切な運営とニーズの把握に努めるとともに、地域住民に事業の周知・普及をはかり、高齢者の福祉の向上に努めるよう指導する。	健康福祉部 高齢福祉課
	2	赤倉集会所	赤倉自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	3	南橋集会所	南橋自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	4	上間藤集会所	上間藤自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	5	上の平集会所	上の平自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	6	下間藤集会所	下間藤自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	7	田元集会所	田元自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	8	野路又集会所	野路又自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	9	掛水集会所	掛水自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・利用人数において目標値を超えているが、次年度は、更に利用の増加を目指して施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	10	内の籠集会所	内の籠自治会	22.4.1～ 27.3.31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	11	向原集会所	向原自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	12	赤沢集会所	赤沢自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	13	松原集会所	松原自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31		○				・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	14	通洞集会所	通洞自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	15	砂畑集会所	砂畑自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや経費の低減が図れていることは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度も引き続き創意工夫を凝らしながら、施設の管理運営に努めていただきたい。	足尾総合支所 総務課
	16	中才集会所	中才自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数及び利用人数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、更に経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	17	原集会所	原自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	18	唐風呂集会所	唐風呂自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	19	餅ヶ瀬集会所	餅ヶ瀬自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
足 尾 地 域	20	足尾南部生活改善センター	中才自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用日数が目標値を達成していることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方向性】 ・次年度は、利用人数の増加及び経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	21	足尾東部生活改善センター	神子内自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	22	切幹林業活動促進センター	切幹自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に経費の低減が図られていることや利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加を目指して創意工夫を凝らし、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	23	遠下林業活動促進センター	遠下自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。特に利用者からの苦情が無いことは評価できる。 【改善に向けた方策】 ・次年度は、利用の増加及び経費の低減が図れるように創意工夫を凝らして、施設の管理運営に努めるよう指導する。	足尾総合支所 総務課
	24	足尾環境学習センター	特定非営利活動法人 足尾に緑を育てる会	22.4.1～ 27.3.31			○			・入館者数が毎年減少しているが、設置目的の「銅山の歴史を紹介するとともに、自然の大切さと環境問題を学べる施設」として植樹団体の入館者を増加させており、設置目的に沿った管理をしている。 【改善に向けた方策】 ・今後は、入館者増のため更なる工夫を行うよう指導する。	足尾総合支所 観光課
栗 山 地 域	1	川俣温泉集会所	川俣温泉自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用人数が少ないので、施設利用者を増加させるような方策を考えるなどの努力が必要である。	栗山総合支所 総務課
	2	川俣集会所	川俣自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	3	野門集会所	野門自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 ・利用者数が目標を上回ったので、今後も利用促進を図るよう指導する。	栗山総合支所 総務課
	4	若間集会所	若間自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
栗 山 地 域	5	上栗山集会所	上栗山自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び人数が少ないので、なお一層の努力が必要と考える。	栗山総合支所 総務課
	6	黒部集会所	黒部自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 ・利用日数及び人数が少ないので、なお一層の努力が必要と考える。	栗山総合支所 総務課
	7	土呂部集会所	土呂部自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・電気料金が増加しているので、なお一層のコスト削減を図る必要がある。その他については、概ね適正な管理運営が実施されている。	栗山総合支所 総務課
	8	青柳平集会所	青柳平自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・全般にわたり、概ね適正な管理運営が実施されていた。	栗山総合支所 総務課
	9	日蔭集会所	日蔭自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力を行うよう指導する。	栗山総合支所 総務課
	10	日向集会所	野尻自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力を行うよう指導する。	栗山総合支所 総務課
	11	大王集会所	大王自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力を行うよう指導する。	栗山総合支所 総務課
	12	小穴集会所	野尻自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力を行うよう指導する。	栗山総合支所 総務課
	13	戸中集会所	戸中自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力を行うよう指導する。	栗山総合支所 総務課
	14	小指集会所	戸中自治会	22.4.1～ 27.3.31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力を行うよう指導する。	栗山総合支所 総務課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
栗 山 地 域	15	西川集会所	西川自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・概ね適正な管理運営が実施されている。	栗山総合支所 総務課
	16	湯西川上集会所	湯西川上自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・概ね適正な管理運営が実施されていた。 【改善に向けた方策】 ・利用日数及び利用人数が少ないので、施設利用を増加させるような方策を考えるなどの努力を行うよう指導する。	栗山総合支所 総務課
	17	12湯西川下地区集会所	湯西川下地区自治会	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・全般にわたり、適正な管理運営が実施されている。	栗山総合支所 総務課
	18	土呂部キャンプ場	土呂部キャンプ場管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 ・引き続き自主事業等の実施などによる誘客方策及び経費節減を指導する。 ・市や観光協会が実施する宣伝等に参加し誘客に務めるよう指導する。	栗山総合支所 観光課
	19	上栗山オートキャンプ場	上栗山開運の里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 ・新規事業等の実施や、市や観光協会が実施する宣伝等に参加し誘客に務めるよう指導する。	栗山総合支所 観光課
	20	平家の里	平家の里湯西川協同組合	18. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・概ね適正に運営がなされている。 【改善に向けた方策】 ・今後も誘客推進やコスト削減に取り組むよう指導する。	栗山総合支所 観光課
	21	川俣湖温泉共同浴場「上人一休の湯」	川俣湖温泉ふれあいの里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・経費の低減が図られていることが特に評価できる。 【改善に向けた方策】 ・温泉利用者は増加しつつあるが、引き続き自主事業の実施など誘客対策を行うよう助言する。	栗山総合支所 観光課
	22	上栗山温泉共同浴場「開運の湯」	上栗山開運の里管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 ・温泉利用者が減少する中で、誘客対策や自主事業を検討するよう指導する。	栗山総合支所 観光課
	23	湯の郷湯西川観光センター	株式会社 湯の郷	22. 4. 1～ 27. 3. 31			○			・概ね適正に運営がなされている。 【改善に向けた方策】 ・今後の誘客推進やコスト削減に取り組むよう指導する。	栗山総合支所 観光課
	24	自然体験交流センター 「安らぎの森 四季」	安ヶ森管理組合	23. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・地域での観光宿泊者については戻りつつある傾向が見えるが、アウトドアブームの下火により施設来場客は下降している。 ・今後は親子自然体験などをPRする必要がある。	栗山総合支所 産業建設課

地域等		施設名称	団体名	指定期間	評価ランク					総 評	担当部課名 (H25)
					A	B	C	D	E		
栗 山 地 域	25	栗山デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			・平成25年度は平成24年度に比べ利用者数が減となっており、栗山地区だけでなく藤原地区からの利用者を増やすための取り組みが今後も必要である。 【改善に向けた方策】 ・平成26年度については繁忙期におけるアンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、蓄積していく必要がある。このことは定量的な分析を行うことが可能となり、提供しているサービスと利用者ニーズとの乖離がないか確認でき、サービスの適正化や改善につなげることができる。 ・そのためにもより一層地域との関わりを増やし、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていけるように、地域に根ざした生活支援体制を確立しながら利用者の拡充に努めるよう指導する。	健康福祉部 介護保険課
	26	西川デイサービスセンター	社会福祉法人 日光市社会福祉協議会	25. 4. 1～ 30. 3. 31			○			・平成25年度は平成24年度に比べ利用者数が増となっており、西川地区だけでなく藤原地区からの利用が増えていることが要因と考える。 【改善に向けた方策】 ・平成26年度については繁忙期におけるアンケート調査を継続し、利用者や利用者家族のニーズを把握、蓄積していく必要がある。このことは定量的な分析を行うことが可能となり、提供しているサービスと利用者ニーズとの乖離がないか確認でき、サービスの適正化や改善につなげることができる。 ・そのためにもより一層地域との関わりを増やし、高齢者が住みなれた地域で安心して暮らしていけるように、地域に根ざした生活支援体制を確立しながら安定した利用者の確保に努めるよう指導する。	健康福祉部 介護保険課
	27	湯西川水の郷	株式会社 湯西川水の郷	23. 7. 1～ 27. 3. 31			○			【改善に向けた方策】 ・観光客が減少する中で、誘客方策や自主事業を検討する必要がある。また、大型観光施設であるが、施設維持管理費の大幅なコスト削減に努めるよう指導する。	栗山総合支所 観光課
	28	西川運動場	株式会社 湯の郷、湯西川温泉旅館組合事業 共同体	25. 4. 1～ 28. 3. 31			○			・平成24年度と平成25年度を比較すると運動場利用者数が60％伸びている。指定管理者によるPR等の企業努力の結果であると評価できる。 【改善に向けた方策】 ・今後は地域の観光産業と連携し、更なる利用者増を目指す必要がある。また、オフシーズンにおけるイベント等を検討し、一層の利用者増を図るよう指導する。	藤原栗山 教育行政事務所